

11月23日を『キャリア教育の日』に  
—沖縄でキャリア教育を考える—

開倫塾

塾長 林明夫

**Q**：沖縄には何をするために行ったのですか。

**A**：(1) 公益社団法人栃木県経済同友会社会貢献委員会（委員長、大西盛明・オニックスジャパン社長）の、キャリア教育に関する視察のためです。  
(2) 沖縄県は、キャリア教育として、高校生だけでなく、小・中学生も対象に、極めて熱心に就業意識の向上に取り組んでいるからです。  
(3) 沖縄県のキャリア教育の担い手である、沖縄県教育庁県立学校教育課、沖縄県商工労働部雇用政策課、一般社団法人沖縄キャリア教育企業支援ネットワーク、株式会社ケイオーパートナーズなど、教育行政担当者と産業政策担当者、NPO、企業とががっちりスクラムを組んで、きめ細かな、また、レベルの高いキャリア教育を推進していることがよくわかり、とても参考になりました。

**Q**：キャリア教育で大切なことは何だとお考えですか。

**A**：自分のキャリアを自分で決定することは、基本的人権であると考えることが第1だと考えます。学校を卒業した後、どのような人生を送りたいのか、どのような仕事や社会的な活動をしたいのか、どのような生活を送りたいのか、そのために、学校時代にどのようなことを行ったらよいのかを自分の力で考え、自分の力で決定（自己決定）すること。このような意味でのキャリア形成は、基本的人権と考えます。これを「キャリア権」というべきと考えます。

**Q**：「キャリア権」に続いて大切なことは何だとお考えですか。

**A**：(1) 「キャリア教育」というからには、「キャリア教育のカリキュラム」が大切かと考えます。  
(2) 人間の発達段階に即した、最適な「キャリア教育のカリキュラム」を策定することが第2です。  
(3) 具体的には、①小学校入学前、②小学校時代、③中学校時代、④高校時代、⑤高等教育（大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院）時代、⑥職業従事時代、⑦社会的な活動時代、⑧人生充実時代などです。

**Q**：「キャリア教育」にとり第3に大切なことは何ですか。

**A**：(1) 「教育評価」、つまり、「キャリア教育」の「評価の仕組み」づくりです。  
(2) 「キャリア教育」にとり最も参考になるメルクマール、評価基準は、  
①アイデンティティ（自分は何者か、何がしたいのか）  
②社会とのつながり  
③幸福感  
④学びに対する自信  
⑤コミュニケーション

この5つです。

(3) これらは、オーストラリアにおける学童保育の指針(2011年)、5つのアウトカムとして示されたもの。国連の子どもの権利条約の考え方がベースとなっています。休養、遊び、文化芸術、レクリエーションの権利。自分たちの生活にかかわることに関する権利。多様性の尊重などが基本となっています。

\*日本総合研究所、池本美香主任研究委員の「放課後をめぐる海外の動き」を参照いたしました。

**Q: 「キャリア教育」の内容としてICTは含まれますか。**

A: (1) AI(人工知能)やIoT(もののインターネット)、ビッグデータや5G(第5世代の無線通信規格)などが、知識基盤社会を背景にどんどん実現化しています。そのため、キャリア教育としてのICT(情報コミュニケーション技術)を身に着けることは、どのような仕事や社会的な活動にも欠かせません。

(2) そこで、①アイウォッチ、②スマホ、③タブレット、④パソコン、この4つの機能・特色を知り尽くして、自由自在に活用できるまでにすること。

(3) 日本語だけでなく、英語でも①~④を使いこなせることが求められます。大量の情報の中から必要なものを選び出し、理解・分析・発信できるだけの日本語能力、英語能力を身に着けることこそ、自分のキャリア形成に最も役に立つといえます。

(4) これから求められるのは、①アイウォッチ、②スマホ、③タブレット、④パソコンが自由自在に活用できる英語の4技能(読む、聞く、話す、書く能力)だと断言できます。

**Q: 「キャリア教育」の担い手や組織、予算なども重要ではないですか。**

A: その通りです。

(1) 「キャリア教育コーディネーター」の育成

(2) 「キャリア教育支援企業ネットワーク」

(3) 「キャリア教育の民間委託」

\*これらを、行政の予算的な裏付けのもと、産業界やNPO、学校、地域社会が連携をもって戦略的に行うことが求められます。

**Q: 沖縄県では、11月23日に「キャリア教育の日」の行事が開催されるそうですね。**

A: 昨年2017年から毎年11月23日の勤労感謝の日に、沖縄県で開催されている「キャリア教育の日」は、素晴らしい企画だと高く評価させていただきます。日本全国でも、11月23日に「キャリア教育の日」を開催すると、「キャリア教育」の推進に大いに役に立つと考えます。

**Q: 学習塾、予備校、私立学校の経営幹部の先生方にお考えいただきたいことはありますか。**

A: (1) 一番にお考えいただきたいことは、僭越ではありますが、ご自身のキャリア形成を、どこでどのように行うかです。

(2) 次にお考えいただきたいことは、自分のキャリア形成は自分で行うのが基本、「キャリア権」は基本的人権であるとの認識をもったうえで、スタッフの皆様全員のキャリア形成を、どこでどのように行うかです。

(3) 塾生の皆様、児童・生徒・学生の皆様のキャリア形成を発達段階ごとにどのように行うかをじっくりお考えいただき、ぜひ、整合性のある体系だったカリキュラムの基に、本格的なキャリア教育を実行していただきたく存じます。勤労感謝の日の11月23日付近に「キャリア教育の日」を定め、記念となるような行事を企画することをご提案申し上げます。

Q：最後にひとことどうぞ。

A：今月も、先生方がお読みになればきっとお役に立つ本を御紹介いたします。今月は、次の 6 冊です。

(1) 1 冊目は、中萬学院会長、故中萬憲明著「秋霜烈日、卒寿回廊」2017 年 10 月吉日刊です。学習塾業界の大先輩、中萬先生の教育に対する熱い思いを本著から学ばせて頂きました。ありがたい 1 冊です。御冥福を心からお祈り申し上げます。

(2) 2 冊目は、村上篤直著「評伝 小室直樹（上）—学問と酒を愛した過激な天才—」と「評伝 小室直樹（下）—現実はやがて私に追いつくであろう—」ミネルヴァ書房 2018 年 9 月 20 日刊です。小室直樹先生の学問体系、思想体系が極めてよく理解できる伝記です。本著により、断片的に読んでいた小室直樹先生の全体像が間近に感じられてきました。勉強の仕方（いい本は最低限 10 回は読みなさい）や、ノーベル賞レベルの最先端理論を踏まえたいうでの経済学、政治学、社会学、法律学、哲学などの基礎基本が明らかにされています。もう一度、小室先生の本をすべて読み直したくなるような本書です。

(3) 3 冊目は、佐々木毅著「民主主義という不思議な仕組み」ちくまプリマー新書、筑摩書房 2007 年 8 月 10 日刊です。民主主義やこれからの政治課題を考えるうえで、これほど親切、丁寧でわかりやすい本はありません。社会科や論文指導を担当する先生の必読書です。

(4) 4 冊目は、大泉啓一郎著「新貿易論」文春新書、文芸春秋社 2018 年 5 月 20 日刊です。最先端のアジア論です。同著「消費するアジア—新興市場の可能性と不安—」中公新書、中央公論新社 2011 年 5 月 25 日刊の続刊で、来春から激増が予定される海外からの就業者や留学生への日本語教育や海外展開をお考えの先生方の必読書です。

(5) 5 冊目は、林野宏著「誰も教えてくれなかった運とツキの法則」致知出版社 2011 年 3 月 31 日刊です。

(6) 6 冊目は、高島宏平著「ライフイズベジタブル、オイシックス創業で学んだ仕事と夢中になるヒント」日本経済新聞出版社 2012 年 6 月 25 日刊です。

\* これら 2 冊は、クレディセゾンとオイシックスを立ち上げ、現在も御活躍のお二人の本音トーク。示唆に富みますので、是非、御一読を。

(7) 7 冊目は、高瀬志帆著「二月の勝者—絶対合格の教育—」①～③小学館 2018 年 2 月 14 日～10 月 17 日刊です。首都圏の私立中学入試をテーマにした話題のマンガシリーズです。

\* 2018 年中は大変お世話になり、ありがとうございました。2019 年もどうかよろしく御指導ください。

2018 年 10 月 28 日記